

みずほCustomer Desk Report 2016/06/01 号(As of 2016/05/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	110.94
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.84	1.1148	123.59	0.9916	1.4635	0.7195
SYD-NY High	111.35	1.1173	124.19	0.9951	1.4727	0.7268
SYD-NY Low	110.51	1.1122	123.00	0.9887	1.4465	0.7181
NY 5:00 PM	110.72	1.1131	123.25	0.9940	1.4482	0.7233
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.46/11.96	△25RR	0.705	Yen Call Over		

NY DOW	17,787.20	▲ 86.02	債券市場	日本2年債	-0.2330	▲0.3bp
NASDAQ	4,948.06	14.55		日本10年債	-0.1050	0.8bp
S&P	2,096.96	▲ 2.10		米国2年債	0.8770	▲3.2bp
日経平均	17,234.98	166.96		米国5年債	1.3718	▲1.3bp
TOPIX	1,379.80	13.79		米国10年債	1.8458	▲0.5bp
シカゴ日経先物	17,085	155.00	為替市況	独10年債	0.1390	▲2.8bp
ロンドンFT	6,230.79	▲40.00		英10年債	1.4290	▲0.7bp
DAX	10,262.74	▲70.49		豪10年債	2.3030	2.6bp
ハンセン指数	20,815.09	185.70		USD/CNH	6.5865	▲ 0.0039
上海総合	2,916.62	94.17		ドルインデックス	95.85	0.33
USDJPY 3M Vol	10.56	0.07%	商品市況	CRB指数	186.153	0.02
USDJPY 6M Vol	10.60	0.08%		NY金	1,217.500	0.80
EURJPY 3M Vol	10.63	0.31%		WTI	49.100	▲0.23
EURJPY 6M Vol	10.68	0.17%		Dubai Spot	46.16	0.50

東京	東京時間のドル円は110.84レベルでオープン。日経平均が小幅安で寄り付き、ドル円は月末の実需売りや利益確定売りから下押しし、一時110.79をつけるが、麻生財務相が消費増税先送りと解散判断で首相方針受入の意思を示したことやMSCI新興市場指数へのA株組み入れ期待の高まりから上海株式市場が堅調推移を見せる中、日経平均もプラス圏を回復。ドル円はリスクセンチメントが好転し、株価が底堅く推移する中で111円台を回復すると、正午すぎに高値111.35をつける。その後は売り圧力に押され111円台前半での小動きとなり、結局111.22レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.22レベルでオープン。米格付会社が、日本の消費税率引き上げ先送りについて、「一定の合理性があり、日本の財政再建への取り組み放棄を意味しない」と発言したことを受けてリスク回避ムードが緩み、日中高値付近でスタート。しかし、野党4党が内閣不信任案を提出する等、消費増税延期を背景に政権批判懸念が強まると、売りに押され110.90まで下落。その後、内閣不信任案が圧倒的多数で否決されると買い戻され、111.02レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1132レベルでオープン。米利上げ期待から、1.1122までユーロが軟調に推移するも、独失業者数(5月)が、予想(5千人減)を超える減少(11千人減)を示し、失業率が過去最低(6.1%)を更新したことで反転。月末のユーロ買い需要も相俟って、1.1165までストップを巻き込み上昇し、1.1162レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.02レベルでオープン。朝方は注目された米4月個人所得、PCEコアが共に予想と一致したものの、個人支出が1.0%と予想0.7%を上回ったことからドル買いが優勢となり、111.25まで戻す。しかし、5月シカゴ購買部協会景気指数、続いて発表された5月消費者信頼感指数が予想を下回ったことから株式市場が軟化する展開に、円買い戻しが優勢となりドル円は110.84まで反落する。NY正午頃になると米金利低下を受けドル売りが強まったことや、英国のEU離脱を巡る国民投票の世論調査結果で離脱支持派が優勢となったとの報道から、GBDが対ドルや対円で下落したこと、そしてリスクセンチメント悪化を受けた株安も手伝い、ドル円は110.51まで下落する。終盤に掛けては、狭いレンジでの推移が続き、110.72レベルでクローズした。一方、独5月失業率が予想を下回ったことやドルの調整売りに、海外市場で1.1165まで戻したユーロドルは、1.1162レベルでNYオープン。朝方は米個人支出結果を受けたドル買いに1.1149まで反落するが、シカゴ購買部協会、消費者信頼感指数結果を受けドル売りが優勢となり1.1173まで戻す。その後は上記英国の世論調査の結果を受けた株安等からユーロも連れ安となり、1.1125まで反落する。午後は新規材料に掛ける中、方向感の無い推移が続き、1.1131レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:リタ・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月31日	8:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	4月 0.3%/-3.5%	-1.5%/-5.0%
	10:30	豪 経常収支	第1Q -A\$20.8B	-A\$19.5B
	10:30	豪 住宅建設許可件数(前月比/前年比)	4月 3.0%/0.7%	-3.0%/-6.7%
	15:45	仏 CPI・速報値(前月比/前年比)	5月 0.4%/-0.1%	0.3%/-0.1%
	16:55	独 失業者数	5月 -11K	-5K
	18:00	欧 失業率	4月 10.2%	10.2%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	5月 -0.1%/0.8%	-0.1%/0.8%
	21:30	米 個人所得/個人支出	4月 0.4%/1.0%	0.4%/0.7%
	21:30	米 GDP(前期比/年率)	第1Q 2.4%	2.8%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	4月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	5月 49.3	50.5
	23:00	米 消費者信頼感指数	5月 92.6	96.1

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月1日	8:50	日 設備投資(前年比)	第1Q 2.4%	8.5%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	5月 50.0/-	50.1/53.5
	10:30	中 GDP(前期比/前年比)	第1Q 0.8%/2.8%	0.6%/3.0%
	10:45	中 財新・製造業PMI	5月 49.2	49.4
	17:00	欧 製造業PMI・確報値	5月 51.5	51.5
	18:00	欧 OECD 2016年世界経済見通し	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	5/27週分 -	2.3%
	22:45	米 製造業PMI・確報値	5月 50.5	50.5
	23:00	米 ISM製造業景況指数	5月 50.3	50.8
6月2日	3:00	米 ページブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.20	1.1080-1.1180	123.00-124.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場は111円大台に乗せた後反落。発表された米国4月の個人消費支出は約7年ぶりの大幅な伸びを示したことでドル買いが優勢となり、一時111.30円近辺まで示現した。ただ、その後発表された5月のシカゴ購買協会景気指数や、消費者信頼感指数は冴えない結果となったため、ドル円は110円半ばまで反落。また、プレジデント再燃でリスク回避姿勢が強まり、ポンドは1.44ドル半ばまで急落となった。一方、2日開催されるOPECでは、増産凍結の合意はないとの悲観的な見方が広がったことで原油価格が反落。日本は安倍首相より消費増税延期の正式表明がなされる予定だが、アジア時間に発表される中国製造業PMIや、豪GDPに注目し、NY時間にも米国ISM製造業景況指数や、米地区連銀経済報告など重要イベントがあり、リスク回避の円買いへの反動の動きに注意したい。